

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

定額法によっております。

耐用年数及び残存価額については、主として法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。

(2) 引当金の計上基準について

① 退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務(期末自己都合要支給額)に基づいた金額を計上しております。

② 会館修繕引当資産

公益目的事業及び収益事業及びその他の事業に供する会館を修繕するのに備えるため、平成9年に取得した会館建設費用の一部を修繕価額と見込み、建物を修繕する計画に基づいた見込額のうち、当期に帰属する金額を計上しております。

③ 公用車再取得引当資産

次年度以降に公用車を再取得するのに備えるため、過去に取得した公用車と同等の費用を見込み、同等の公用車を再取得する計画に基づいた見込み額のうち、当期に帰属する金額を計上しております。

④ 保証預金(敷金用)積立資産

大同生命保険(株)相模原営業所事務所賃貸契約解約時の修繕等に備えるため、1箇月の賃貸料の6箇月分を見込み、当該見込額全額を計上しております。

⑤ 女性部会周年事業積立資産

その他の事業に供する女性部会周年事業に備えるため、過去に実施した周年事業と同等の費用を見込み、過去に実施した周年事業と同等の内容を実施する計画に基づいた見込み額のうち、当期に帰属する金額を計上しております。

⑥ 什器備品買替引当資産

次年度以降に什器備品を再取得するのに備えるため、過去に取得した什器備品と同等の費用を見込み、同等の什器備品を再取得する計画に基づいた見込み額のうち、当期に帰属する金額を計上しております。

⑦ 青年部会周年事業積立資産

その他の事業に供する青年部会周年事業に備えるため、過去に実施した周年事業と同等の費用を見込み、過去に実施した周年事業と同等の内容を実施する計画に基づいた見込み額のうち、当期に帰属する金額を計上しております。

⑧ 周年事業積立資産

その他の事業に供する当会の周年事業に備えるため、過去に実施した周年事業と同等の費用を見込み、過去に実施した周年事業と同等の内容を実施する計画に基づいた見込み額のうち、当期に帰属する金額を計上しております。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

(4) 税効果会計の適用について

法人税法上の収益事業を実施していますが、過年度及び当年度に発生した一時差異等に係る税金の額に重要性が乏しいことから、税効果会計は適用しておりません。

なお、法人税、住民税及び事業税については、当期一般正味財産増減額に対する重要性が高いことから、独立区分表記しております。

財務諸表に対する注記

2 特定資産の増減及びその残高

特定資産の増減及びその残高は、次のとおりです。

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的取崩	目的外取崩	
特定資産					
退職給付引当資産	3,879,345	282,169	0	0	4,161,514
会館修繕引当資産	16,923,252	1,000,000	0	0	17,923,252
公用車再取得引当資産	987,537	200,551	0	0	1,188,088
保証預金(敷金用)積立資産	2,124,600	0	0	0	2,124,600
女性部会周年事業積立資産	1,295,154	100,724	0	0	1,395,878
什器備品買替引当資産	542,793	100,303	0	0	643,096
青年部会周年事業積立資産	200,004	263,103	0	0	463,107
周年事業積立資産	9,998,906	505,585	9,576,630	0	927,861
会館修繕引当資産(利息)	23,519	337	0	0	23,856
合計	35,975,110	2,452,772	9,576,630	0	28,851,252

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

科目	当期末残高	単位:円		
		(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	4,161,514			(4,161,514)
会館修繕引当資産	17,923,252		(17,923,252)	
公用車再取得引当資産	1,188,088		(1,188,088)	
保証預金(敷金用)積立資産	2,124,600		(2,124,600)	
女性部会周年事業積立資産	1,395,878		(1,395,878)	
什器備品買替引当資産	643,096		(643,096)	
青年部会周年事業積立資産	463,107		(463,107)	
周年事業積立資産	927,861		(927,861)	
会館修繕引当資産(利息)	23,856		(23,856)	
合計	28,851,252		(24,689,738)	(4,161,514)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及びその残高は、次のとおりです。

科目	取得価額	減価償却累計額	単位:円	
			当期減価償却額	当期末残高
建物	164,259,530	76,873,472	2,956,672	84,429,386
構築物	6,724,800	818,456	459,147	5,447,197
車両運搬具	2,321,650	193,858	387,716	1,740,076
器具備品	8,284,665	8,284,659	0	6
少額備品	294,147	139,769	17,472	136,906
合計	181,884,792	86,310,214	3,821,007	91,753,571

財務諸表に対する注記

5 補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりです。

単位:円

補助金等の名称	交付者	前期末残	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
全法連助成金	公益財団法人全国法人会総連合	0	20,919,100	20,919,100	0	
全県連補助金	公益財団法人全国法人会総連合 一般社団法人神奈川県法人会連合会	0	2,519,976	2,519,976	0	

6 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりです。

単位:円

内容	金額
経常収益への振替額	
全法連助成金 公益目的事業使用による指定解除額	23,439,076
全県連補助金 会員交流事業及び法人会計に使用	

7 その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 正味財産増減関係

収益事業等会計から公益目的事業会計への振替額は、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第18条の規定に基づき、本年度は877,317円を振り替えています。

(2) 引当金の明細

単位:円

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的取崩	目的外取崩	
退職給付引当金	1,410,630	273,120	0	0	1,683,750

(3) 関連当事者との取引の内容

単位:円

法人名	住所	代表者名	事実上の関係	取引の内容	取引年額
菊屋浦上商事株式会社	相模原市中央区相模原6-26-7	浦上裕史	副会長	コピーカウント FAX保守・トナー 事務用品	761,342
株式会社 タカチホ産業	相模原市南区上鶴間本町5-26-5	春原正明	副会長	法人会館維持管理 (管内清掃・エアコン 清掃・床ワックス・除 草剤散布)	733,700

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりであります。

2 引当金の明細

引当金の明細は、財務諸表に対する注記7その他資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項(2)引当金の明細に記載のとおりでございます。